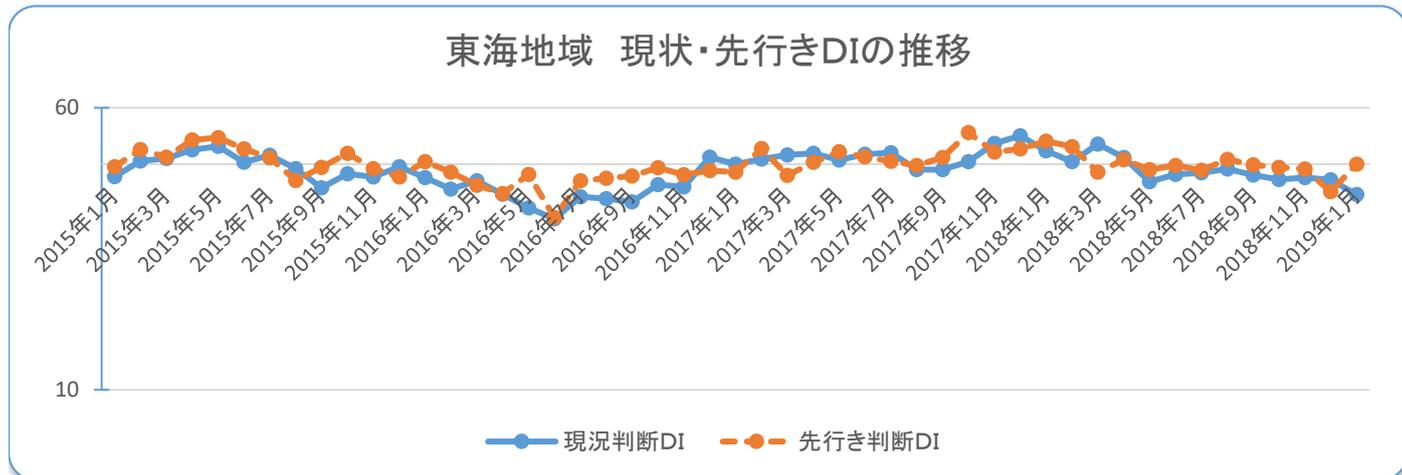


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年1月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》単純に車が売れている。消費税上げの影響で駆け込み需要が始まっているとも考えているが、景気はやや良くなっている。【乗用車販売店（従業員）】
		不変	《来客数の動き》計画案件が若干増加しているが、小規模な案件が多く全体の収入アップにはならない。【設計事務所（経営者）】
		やや悪	《お客様の様子》来客数はほぼ前年並み、客単価は上がっているが、前年11月以降は買上点数が前年同月を下回っている。野菜の相場安はプラスの要因であるのに、年末以降から年明けは客の買上が鈍い。【スーパー（ブロック長）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》自動車産業、建築業や金融関係の客との話からは、比較的元気があるような印象を受ける。3月戦に向けてということもあるのか実際に少し生産量も増えているようで、比較的景気は良い方向という感触がある。【金融業（従業員）】
		不変	《取引先の様子》同じ業界内で法人取引しているところは好調で、消費者を相手にしている飲食店などは来客数や客単価が減少している。この傾向は3か月前と変わっていない。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》発電機の関係等を含め、12～1月はその前の3か月に比べ、2割程度受注量が減少している。今後しばらくは、海外の影響を受けながらやや悪い方向に進む。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	《採用者数の動き》自動車産業においてはメーカーによって大きく違いがある。不祥事やリコールがあるメーカーは厳しいが、その他のメーカーにおいては、おおむね年度末に向けて上向きに推移している。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	《求人数の動き》有効求人倍率は引き続き高水準で推移しており、企業の採用意欲の高まりに対して求職者が減少しており、特に中小零細企業においては人手不足が深刻化している。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《求人数の動き》新規求人は長年にわたって前年同月を上回っていたが、24か月ぶりに前年同月を下回った。【職業安定所（職員）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	天候が春に向かうのと、改元等によるゴールデンウィークの連休に向けて、人出が伸長する流れに期待もてる。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	この冬は前年と違って雪など天候の影響もないのに売上不振である。無駄な出費を抑えるように、客は価格に敏感になっていると感じる。【スーパー（ブロック長）】
		やや悪	2か月前以降の入場者予約数はそこそ前年並みに入っており、通常どおりに推移すると思われる。しかし、今月が好調なので、今よりは少し悪くなると見込まれる。【ゴルフ場（支配人）】
	企業 動向 関連	やや良	様々な分野において、東京オリンピックに向けて徐々に上向いてきている印象で、全体的に活力等もあり、若干景気の方も回復し始めているように感じる。【金融業（従業員）】
		不変	年始等で今後の見通しについて取引先の話を見ると、年度末に向けて受注は横ばいが続きそうという話が多く、先にも上昇の気配がみえない。【電気機械器具製造業（経営者）】
		やや悪	原材料価格の高騰などで明い要素が見当たらない。【食料品製造業（経営企画担当）】
	雇用 関連	やや良	年度末から年度初めにかけて求職者の動きは例年盛んになる。そのため、派遣人材については入れ替わりのピークを迎えると考えられる。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	人手不足の解消に向けて、企業の働き方改革の取組が必要であるが、中小零細企業については、当面の労働力の確保もままならず、仕事はあるものの要員不足が阻害しているとの声が多く聞かれる。【職業安定所（次長）】
やや悪		派遣先では欠員補充以外に派遣社員の採用を認めないケースが散見される。また、社員の希望退職を募るケースが徐々に増加している。【人材派遣会社（営業担当）】	